

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 31 日

事業名称		やまとあけぼの学園運営費 [やまとあけぼの学園運営事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 8	心身障害児通所施設費	事業番号	2			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育 課 やまとあけぼの学園 係					課長名	関田 孝志				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 3				
【施策名】 障害者福祉の推進						総合計画書 (ページ)	55				
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 やまとあけぼの学園に通園している児童					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） ①延べ通園児数 ②実通園児数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 療育を通して児童の力を引き出し、自立へ近づくことができる。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 通園者のうち、入園したことで生活習慣が良くなったと感じた保護者数の割合					
	③ そのために何をしましたか。 発達につまずきのある就学前の児童に対し、自立を助長するために必要な指導及び訓練を実施した。 ①療育・・・通園により、自立した生活習慣の獲得や人との関係性の発展などを目指す。 ②機能訓練・・・専門の療法士により、理学療法、作業療法、言語療法を実施する。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①療育実施日数 ②機能訓練実施回数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	①延人 ②人	①2804 ②17	①2108 ②15	①2424 ②19					
	成果指標	②の数値	%								
	目 標	②の目標値		100%	100%	100%					
目標値設定の考え方 保護者が子どもを入園させて良かったと思える施設											
3 経費	活動指標	③の数値	①日 ②回	233日②46回	234日②46回	①230日②46回					
	事業費（実績）		円	25,182,032	25,483,416	24,662,506	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	5,575,513	7,586,968	4,424,775					
		特定財源	円	19,606,519	17,896,448	20,237,731					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	8.0	7.0	4.5					
		所要人数(再任用)	人	0.0	1.0	2.8					
		職員人件費(再任用以外)	円	66,024,000	57,708,000	37,395,000					
	職員人件費(再任用)	円	0	3,019,000	10,342,333						
事業費+人件費		円	91,206,032	86,210,416	72,399,839						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和47年度										
	(2) 環境の変化 発達障害が教育現場で問題になることが多くなり、幼少期からの早期対応が求められるようになった。また、障害児療育についても日常生活に必要な指導、訓練だけでなく、将来の自立を考えた様々なニーズが出てきている。										

事業名称	やまとあけぼの学園運営費 [やまとあけぼの学園運営事業]			
担当部署・課長名	保育	課	やまとあけぼの学園	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 昨年度実施した事業所の自己評価を今年度も実施したが、保護者からは施設の老朽化を指摘する意見があったものの、概ね良好な評価を得ることができた。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑧（行事（あけぼの祭り）でボランティアとして参加）		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 実施している事業の性格から現状の取り組みが適切である。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） ・今後の運営については引き続き検討する。 ・自己評価の結果を踏まえ、療育の充実に取り組んでいく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ・施設の移転等今後の運営については、担当部署により検討を継続している。 ・今年度の自己評価結果は前年度と同様、老朽化等施設面での意見はあったが、療育については良好な評価を得ることができた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・施設の移転等今後の運営については、引き続き担当部署により検討していく。 ・専門職の補充が難しくなっているが、保護者との信頼関係を醸成し、良好な評価結果を維持していきたい。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 障害者福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・保護者が子どもを入園させて良かったと思える施設を目指す。 ・保護者の気持ちに寄り添い、専門的でありながら負担を増やさないアドバイスを行う。 ・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解を持つ。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・個別支援計画の作成にあたっては、より適切な計画とするため、保護者の考えと園の考えをすり合わせる必要がある。 ・子どもの将来を考える上で役立つ情報を提供する。			

<お願い>

このシートは、行政管理課でPDF形式で保存し、市のホームページに掲載しますので、以下の点について、お願いいたします。

- このファイル1つに、1つの「仕事の内容」をご記入ください。
- ファイル名は「仕事の内容」と同様とし、課名等はいれないでください。
- 保存の際は、Excel97-2003の形式で、保存してください。
- 印刷範囲の設定をしてありますので、解除や変更をしないでください。
- 行の挿入や、行の高さなどは、適宜していただいてもかまいませんが、その際、印刷プレビューで確認し、2ページに収まるように調整してく

こちらの列は、その年の利用状況など実績を表にしておくと、事業を振り返るときに便利です。

